

タイピックだより

9月号

2018.8.20 発行 Vol.69



9月ともなれば季節は秋ですが、朝晩は涼しくなったものの、日中はまだまだ暑い日が続きます。「秋暑し」は、立秋が過ぎた頃になってもきびしい暑さが続くときに使う秋の季語です。一般的に秋は涼しいという印象が強いですが、このまま年々平均気温が上がっていくと、「秋暑し」も広まるかも知れませんね。

9月9日は重陽の節句です。旧暦では10月中頃にあたり、菊の花が美しい季節であることから「菊の節句」とも呼ばれる不老長寿や繁栄を願う行事です。菊は株分けをして育てるといくらでも増え、長生きする花なので不老長寿の力があると信じられていたのしょう。重陽に咲く菊の香りは邪気を払い、

長寿をもたらすと云われていました。また、「温め酒」といって、この日に飲む温めたお酒は病気を寄せつけないという言い伝えもありました。昔は秋の収穫祭としても盛大に祝われていた重陽の節句ですが、現在はあまり馴染みがなくなってしまうました。その原因として新暦になり菊の旬や作物の収穫時期と合わなくなったことがあげられるそうです。

今年10月17日が旧暦9月9日に当たること。現在は新暦・旧暦どちらで祝ってもよいそうですので、幸せな日々が続くことを願う重陽の節句をぜひ楽しんでみてください。



なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに



熱中症対策の水分補給に！

環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。
ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。
「ご用命は、担当営業にお問合せ下さい。」

無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>



社長の

つぶやき



猛暑が続いた今年の夏であったが、立秋を過ぎた日から若干温度の低下を感じながらいた8月17、18日に朝5時過ぎに、歩こうと家から外に出たら「寒い」と感じたが、その後、猛暑になった。日々、早朝から動くので、季節の変わり目の八節(立春、春分、立夏、夏至、立秋、秋分、立冬、冬至)を感じながら生活している。

じつは、7月の中旬に、朝方ランニングしていたら左足のふくらはぎが痛くなり、走るのをやめて朝5時過ぎから草刈りを一時間程度して出勤していたが、どうしても痛さがとまらないので病院に行ったところ肉離れとのこと「暫く走らないように」「草刈りもダメ」と言われた。なんでもそつだか自分の勝手な判断でなく専門家の意見を聞かないとダメだと改めて思った。

昨年、致知出版社が主催する『徳望塾』で株式会社国際ビジネスブレイン代表取締役社長。シエル石油、日本コカ・コーラ、ジョンソン・エンド・ジョンソン、フィリップなど、

グローバル・イクセレント・カンパニー6社で社長職を3社、副社長職を1社経験され、「経営のプロフェッショナル」として50年以上にわたり、様々な会社のアドバイザーや経営者のメンターを務めながら長年の経験と実績をベースに、講演や企業研修、執筆活動を通じて国内外で「リーダー人財育成」の使命に取り組んでおられる新将命氏の講話を聞く機会があった。

新将命氏著の『自分と会社を成長させる7つの力』を平成17年10月に読み、心に残った言葉は「トップとは人を通じて結果を出す人」だ。この本も本当によい本だと思っていた。

その新将命氏が、今年7月頃、致知出版社から『社長の教科書』を出版されると知り、即、アマゾンで予約し、いつ届くかと待ち遠しく思っていたら、8月初旬に手元に届いたのですぐに2回読み、3回目にチャレンジしている。

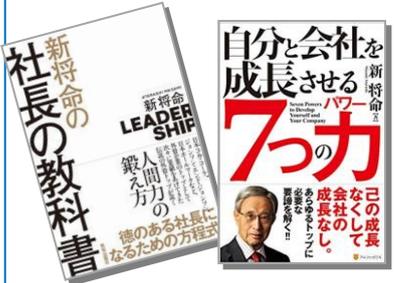
会社は社長の器以上に大きくならないと教わっているのに、自分の器を大きくしなくてはならないと常に各種講演会に参加し、あらゆる本を読んでいるが、この本のまえがきには、『伸びる企業、成長する企

業と、ダメな会社、倒産する企業を分ける最大の原因は、「社長の品質」に尽きる。という一点である。社長の品質の高い企業は長寿企業となり、低い企業は短命企業で終わるということだ」と書いてある。

この本にも書いてあり、売上倍増の講習会などでも最後は社長の『人間力』だと聞くことが多く、今更だがもっと人間力を磨かなくてはならないと思っている。

弊社は今年7月の決算で50期を終えることができました。これも多くのお得意先様・社員・仕入先など関係する多くの皆様のお蔭と感謝申し上げます。

今後、社員と共に地域で必要とされる会社、必要とされる人であり続けるために、人間力を磨き、社員やお客様の「夢」を叶える「島根ドリムカンパニー」を目指して参りますので、格別なるご支援ご協力賜ります。



わが社の ほっとニュース



タイピックの新鮮野菜市場

タイピックの玄関を入って左がゆっくりやさしいパソコン教室です。その教室の前には、教室の生徒さんが丹精込めて作られた野菜やくだものを格安価格で販売しています。

時には珍しい野菜や果物を提供していただき、生徒さんだけでなく、弊社の社員も利用させていただきます。美味しく食べて新鮮な野菜で、食卓が賑わいます。これからは、さつまいもや栗などの秋野菜が楽しみです。

野菜の売上金は、毎年、益田市社会福祉協議会に寄付をさせていただきます。



社内木鶏会 致知の感想



特集 変革する 印刷事業部 河野晶

野晶

今回の特集は、地球は宇宙に生み出され46億年。その歴史の中で、8回ほどの危機があった。その中でも3回は絶体絶命の大危機で、地球の全表面が氷で覆われた時、そして、超巨大な噴火により、太陽光が遮断され96%の生物が死滅した時、隕石の激突により塵や海水で太陽光が遮断され、恐竜が絶滅した時と書いてありました。その中で生きのび、厳しい環境の中で、適応する能力があるものだけが生き残っていったのだと感じました。その時々遭遇する困難や危機から目を背けず、変革する良い機会だと感じなければいけないと思いました。

昔、私たちの祖先であったサルが木の上の生活から、木の実などの食糧難で地上に降り、二足歩行や両手を使う事により脳の発達が進んだようです。まさに食糧難という逆境が人の進化に大きく関係していると感じました。これから困難に遭遇した時こそ変革できるチャンスととらえたい。



チアダンス全米五連破への道はこうして始まった O事業部 吉松 一彦

全くの未経験ながらチアダンスの指導を始め、全米の大会で何度も優勝するといつ俄かには信じられないようなことを成し遂げた五十嵐さんのインタビュー記事に興味を持ち、テーマに選びました。

目標と言つにはあまりにも高すぎる目標をかかげて、どう結果を出したのか読み進めていくまでは想像もできませんでした。まず出てきた「鉄の錠」という言葉が印象に残りました。

どんなにエースであっても基本のルールが守れなければ出場が取り消されるという厳しさにおどろきました。しかし、後半の文章に出てきた「人として上等を目指す」という言葉で、どんなに技術が必要であっても、人としての根本がしっかりしていないと中途半端なところで終わってしまうのだと気づき、まさに人間力そのものだと感じました。

人間力を高め、人としての基本がしっかりしていれば一見不可能に見えることも成し遂げることができるようになります。毎日少しでも変化していけるように、人としての基礎基本をしっかりと身につけて人間力を高めていきたいと思えます。



誕生日の決意

経理部

大庭 幸絵

今年2月に書道の作品展を見に行きました。



滑らかで繊細な線と余白のバランスが美しい漢字かな交じりの和歌、大きく勢いのある文字や遊び心を取り入れた文字も面白かったです。これだけ書くのは大変だったろうなと思うほどびっしりと文字で埋まった作品もありました。

展示会などを見に行くことは好きなのですが、受付の芳名帳が苦手です。元々、字は下手ですが、書道展では受付の方々も上手な字なのだろうなと思って勝手に緊張してしまいました。学生時代で慣れていて書きやすい鉛筆ならまだ幾分ましです。

印刷事業部

和崎 里栄子

私の誕生日と結婚記念日は一日違いです。



ひとつ歳を重ねるギリギリで結婚し日付変更線を越えた旅行でまた誕生日を迎えるというちょっとウキウキした思い出があります。そしていつの間にか25年、なんと銀婚式！ウキウキ感はありませんが、今年はまだとめて少し盛りだお祝いになりそうです。

子供の成人まであともうひと頑張り、それを終えてさでどう過ごそうか…。

趣味？体力づくり？何かを始める年になりたいと思います。

私の伯母は90歳を超えましたが今

社会人になりボールペンを使うことが多くなりましたが、なぜあんなに少しの力で進みすぎてしまうのか。そして筆ペンは、太い幅、細い幅が思わぬところで変わってしまうので悲惨です。最近では、お年玉や祝儀袋などに書く機会が増えました。もらった手紙の字のようにきれいに書けるまでには、まだまだ要練習。手書きが減ったと言われますが、書く機会が減ったからこそ、「一発本番大失敗」の危険が増えたのかも知れません。毎日少しでもきれいに書けるように意識したいと思います。



でも読書が大好きで小説を買って読み込んでいます。先日会った時も、おもしろいよ！持って帰って読んでみんさい！と渡されました。まだまだ昔と変わらぬ話ができるのも毎日日本を讀んでいるおかげかな？と思います。

市内では、あちこちでサイクリングする姿が増え、これからの季節さわやかな風を受けて走るのとはとても気持ちよさそうなので体験してみたいとも思います。

さて、来年の決意に本か自転車について語るか否か…笑
とりあえず模索しながらまた一年、日々楽しく活を生きと過ごして行きたいと思えます。



ゆっくりやさしいパソコン教室

三十年間の念願をついに形に

従兄弟の従軍日記をパソコンで出版

益田教室 清水 壮一

益田教室で最高齢（現在九十一歳）の生徒さんの大庭富子さんが益田教室の門を叩いたのは、4年前でした。

「パソコンでやりたいことがあるの。」と入会されて見せてくださったのが、戦死された従兄弟の軍事手帳の束でした。胸ポケットに入るくらい的小さな手帳がらゝ6冊。開いてみると、小さな文字で従軍中の毎日の日記が書かれていました。

「三十年以上前に、私の親戚の家にこれがあることを知って、どうしてもきちんとしたものにしておきたいと思っていたが、仕事や病気のためになかなか実現できなかった。もう猶予もないので、思い切ってパソコン教室に来てみました。」とはにかみながら話される姿が印象的でした。

それからは手帳の読みにくい字を読み解きながら一文字ずつ入力していかれ



完成した「従軍記」



著者 大庭富子さん

ました。2年分の日記をひと通り全部入力し終わるのに2年近くかかり、次は、入力した文字に間違いがないか見直しの作業にとりかかりました。

日記は「軍事手帳」と「青年訓練手帳」に毎日きちんと書かれていました。

浜田を出発し、宇品港から軍艦で出港する頃はまだ元気な内容でしたが、満州に入り本格的に軍隊生活が始まると、疫病にかかったこと、太ももに銃弾を受けたこと、つらい生活から故郷への思いが膨らんで両親や友達のことなどを思い出したことなど、従軍した当事者でないといけない戦争の苦しみか記されていました。大庭さんも時折「かわいそうで涙が出てくる」ともらしていました。

そして、いよいよできあがった348ページに及び原稿を、弊社で印刷・製本して、三十年以上前からの念願であった本が完成しました。大庭さんは、「やっとできてうれしい」ととても喜ばれました。この本は、親戚に配るそうです。



戦場から故郷の母親に宛てた手紙

パソコンを使うことによって、今までで難しいと思っていたことが自分自身の手でできるようになる。これがパソコンの素晴らしいところです。

パソコンを覚えたら、もしかしたら今までやってみたいと思っていたことができるようになるかもしれません。これまでも、自伝を出版された方が二名おられます。絵を描くのが好きな方は「ワードでお絵かき」や水彩画を描くこともできます。

新しい人生を開くためにパソコンを始めてみませんか？

シニア・初心者のためのパソコン教室です

益田教室 島根県益田市常盤町7-3 株式会社タイピック1F

浜田教室 島根県浜田市相生町1391-8 シティバルク3F

廿日市教室 広島県廿日市市木村港南3-14 安野産業株式会社2F

萩教室 山口県萩市土原川445 萩ショッピングタウンG棟

宇治教室 京都府宇治市大久保町上ノ山32-2 石田ビル1F



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします